

群馬県の非住宅用太陽光発電の出力は全国第9位

～市町村別では太田市がトップ～

- 群馬県の非住宅用太陽光発電設備^(注1)のうち、実際に運転を開始したものの発電出力の合計は、2014年10月末現在で39万8424キロワット（以下、kW）と全国第9位である（図表1）。本県は日照時間が他県に比べ長く、土地も比較的安価なことなどが太陽光発電の多い原因と考えられる（図表2）。
- 県内を市町村別にみると、積極的に太陽光発電に取り組んでいる太田市^(注2)が6万4546kWと最も多い（図表3）。以下、前橋市が4万8855kW、伊勢崎市が4万8692kWと続き、3市合計で16万2093kWと全体の4割を占めている。
- 全国的な傾向として、太陽光発電設備の急増により、新規設備の送電線への接続が制限されている。県内でも北西部を中心に接続が制限されており、今後太陽光を利用した発電出力の伸びは鈍化することが予想される。

図表1
都道府県別非住宅用太陽光発電出力合計順位(2014年10月末)
(単位：キロワット)

順位	都道府県名	発電出力合計
1	福岡県	636,514
2	茨城県	583,718
3	鹿児島県	508,193
4	兵庫県	503,333
5	千葉県	494,856
6	愛知県	487,762
7	静岡県	408,962
8	栃木県	408,851
9	群馬県	398,424
10	大分県	373,521
	(中略)	
43	島根県	60,504
44	東京都	55,550
45	福井県	47,431
46	山形県	40,246
47	秋田県	33,744

図表2
主要気象官署別日照時間順位^(注3)
(単位：時間)

順位	気象官署地名	日照時間
1	甲府	2,240
2	静岡	2,199
3	前橋	2,143
4	名古屋	2,138
5	高知	2,126
6	熊谷	2,117
6	津	2,117
8	岐阜	2,109
9	徳島	2,089
10	神戸	2,074
	(中略)	
43	松江	1,665
44	富山	1,644
45	山形	1,610
46	青森	1,576
47	秋田	1,541

図表3
市町村別非住宅用太陽光発電出力合計順位(2014年10月末)
(単位：キロワット)

順位	市町村名	発電出力合計
1	太田市	64,546
2	前橋市	48,855
3	伊勢崎市	48,692
4	高崎市	45,118
5	藤岡市	25,713
6	渋川市	22,506
7	桐生市	19,480
8	安中市	18,811
9	館林市	11,162
10	みどり市	9,350
	(中略)	
31	下仁田町	215
32	草津町	152
33	片品村	63
34	南牧村	34
35	上野村	0

【用語説明】

- (注1) 非住宅用太陽光発電設備：出力10キロワット未満の太陽光発電設備を住宅用、10キロワット以上の同設備を非住宅用と区分している。
- (注2) 太田市：2012年9月に都市宣言「太陽光発電推進のまち おおた」を制定し、市をあげて太陽光発電の導入に取り組んでおり、住宅用の発電出力でも県内第3位である。
- (注3) 主要気象官署別日照時間順位：日照時間は08～12年の5年間における平均値。同一県内に複数の気象官署がある場合（北海道、東京、和歌山、鹿児島）には、県庁所在地のみを対象としている。

【資料出所】

- 図表1、3：経済産業省資源エネルギー庁の固定価格買取制度に関する資料をもとに、群馬経済研究所にて作成。
- 図表2：気象庁観測部「過去の気象データ」をもとに、当研究所にて作成。

(担当：桑原正幸)